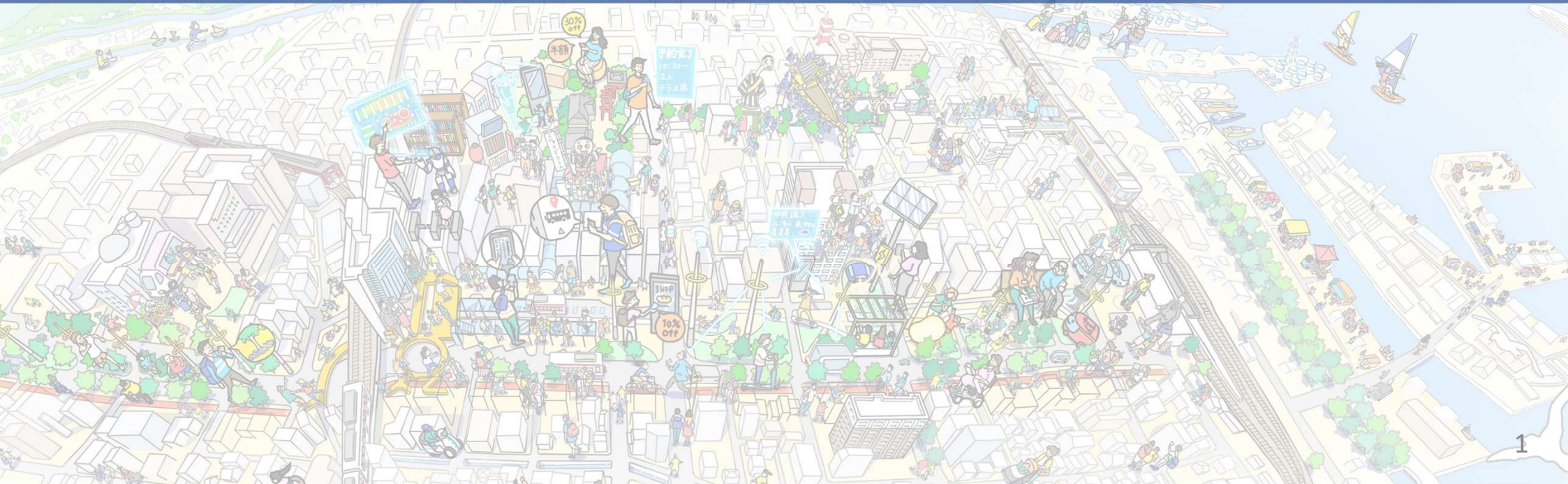


四日市スマートリージョン・コア実行計画 フォローアップ2025

(2026年3月現在)



CONTENTS

はじめに . . . 3

実行計画の概要 . . . 4

I. 2025（令和7）年度の主要トピック . . . 5

- ・スマートシティ実装化支援事業が最終年度に
- ・四日市市の新たなシンボル「よんまるテラス」がオープン
- ・整備区間における実証実験の実施

II. 四日市の中心市街地 ～ここが変わった
2022 (R4) ⇒2025 (R7) . . . 7

- ・中心市街地～ここが変わった2022 (R4) ⇒2025 (R7)
- ・参考資料

III. 12の取り組み内容の進捗と今後の予定 . . . 12

- 01 ウォークابل・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備
- 02 待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入
- 03 ウォークابل+ウェルネス環境の展開
- 04 パブリックスペースの可能性最大化
- 05 インタラクティブなストリートファニチャー
- 06 災害に強い中央通り
- 07 人流誘導による商店街活性化
- 08 スマート図書館
- 09 メタバース（デジタルツイン）
- 10 データプラットフォーム
- 11 3D都市モデル
- 12 スマート・インフラ

IV. KPIの達成状況 . . . 24

V. 関係者一覧 . . . 26

はじめに

四日市市におけるスマート化に向けた取り組みは2020（令和2）年度の四日市市職員によるワークショップから始まり、2021（令和3）年度には公民連携による「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」が設立されて本格的な検討が行われました。この推進協議会では「四日市市都市再生協議会」や「中央通り再編関係者調整会議」などと連携しつつ議論を重ね、2022（令和4）年3月に『四日市スマートリージョン・コア実行計画』を作成しました。

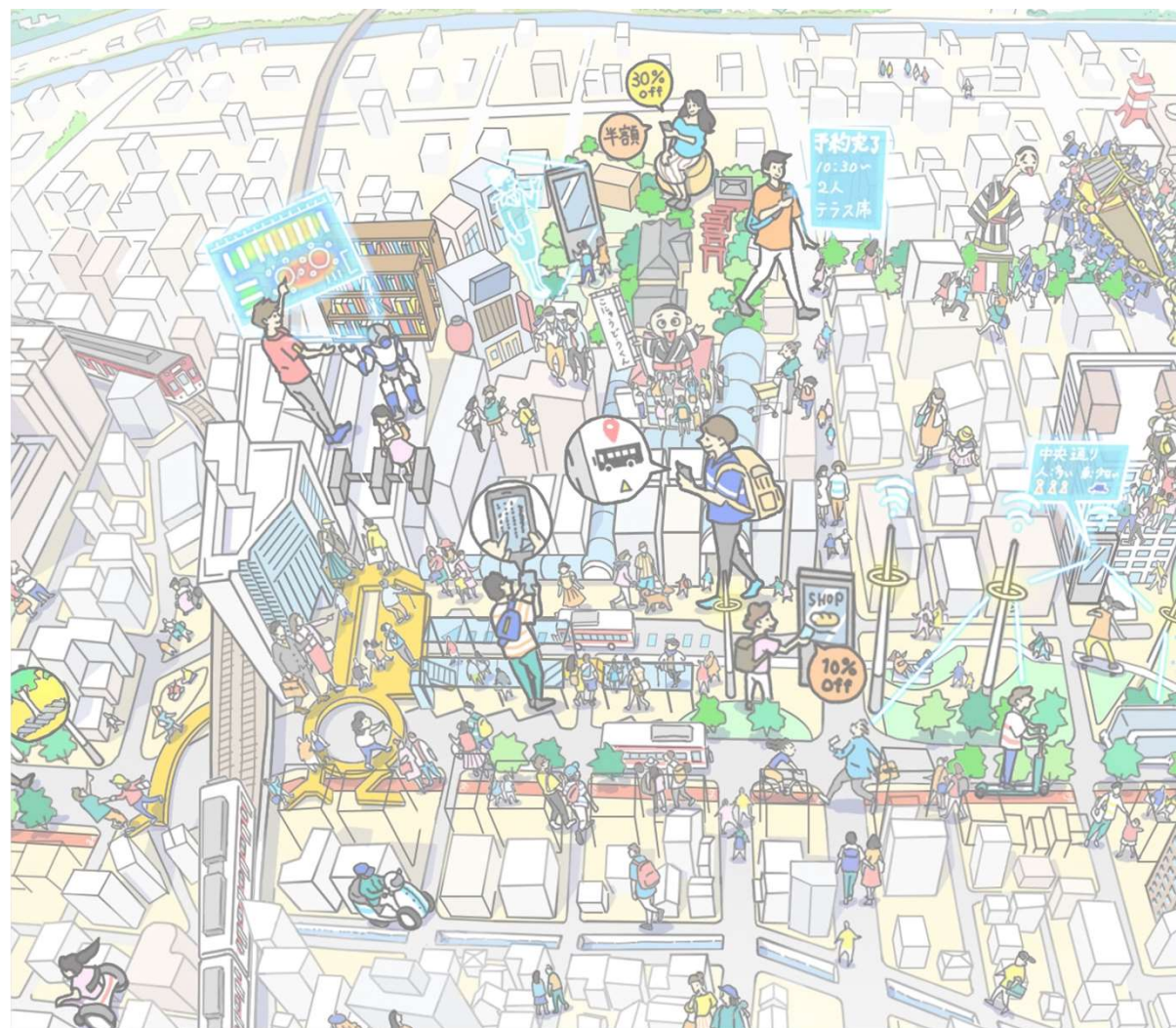
この実行計画をロードマップとして、中央通りの再編やバスターミナルの整備が完了する予定の2026（令和8）年度までにスマート化の各種取り組みを実装することを目標にしています。

2023（令和5）年度からは、国土交通省のスマートシティ実装化支援事業の採択を受け、①利活用空間活性化ツールの構築、②四日市版MaaSの構築、③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築（沿道空間利用マネジメントシステムの構築）、④中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング／マネジメント・ツールの構築（デジタルインフラ台帳の構築）という、4つの事業を推進してきました。これらの事業は、2023（令和5）年度から2025（令和7）年度までの3年間の実施を予定しており、2025（令和7）年度はその最終年度にあたり、いよいよ実装となります。

また、2025（令和7）年度は、「ニワミチ JOYnt(じょいんと) Park Days」「自動運転実証実験」という社会実証に加え、2025（令和7）年12月には、四日市市の新たなシンボル「よんまるテラス」がオープンしました。

本資料は、前述のスマートシティ実装化支援事業の完了などの節目として、実行計画における2025（令和7）年度までの活動成果や達成状況をとりまとめました。

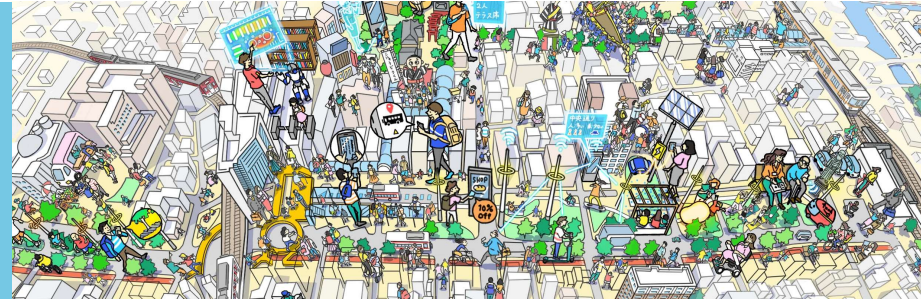
2026（令和8）年度は、実行計画の最終年度となりますので、これらの成果を踏まえつつ、取り組みを継続していきたいと考えています。



実行計画の概要

<実行計画の目標>

四日市スマートリージョン・コア ～都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出～

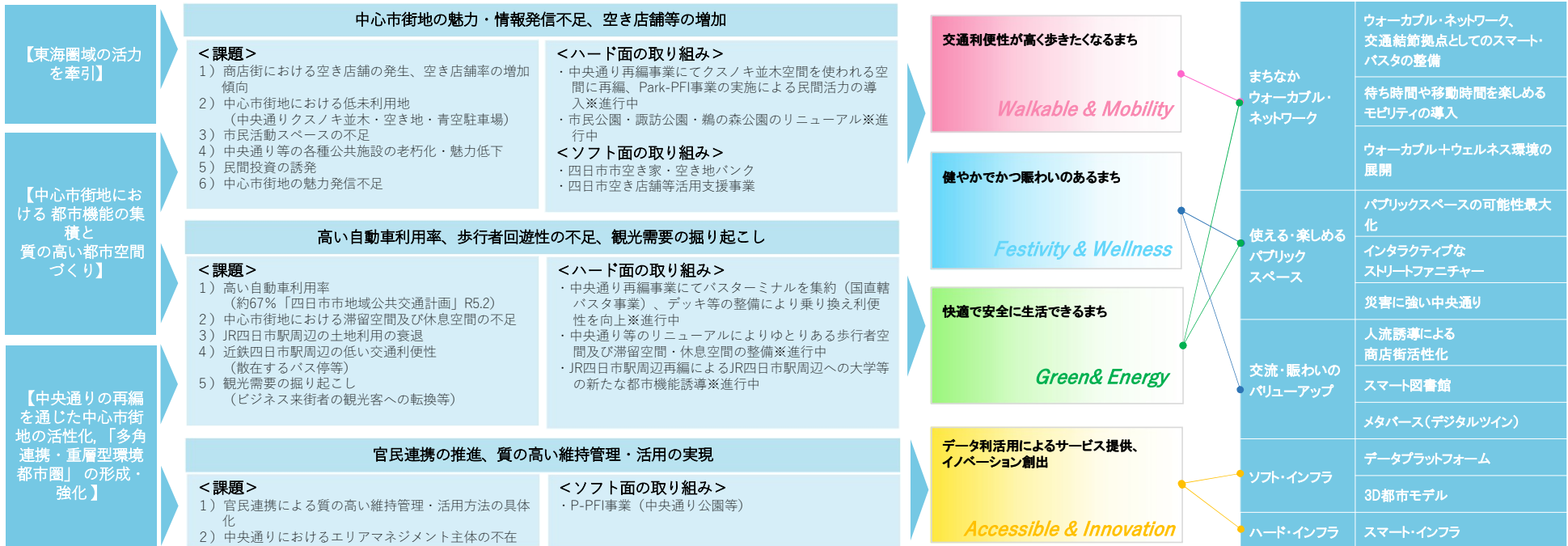


<未来像>

<未来像実現のために解決すべき課題・既往の取り組み等>

<スマートリージョン・コアの実現を通じて目指す将来像>

<スマートシティ実行計画における12の取り組み>



I. 2025（令和7）年度の 主要トピック

- スマートシティ実装化支援事業が最終年度に
- 四日市市の新たなシンボル「よんまるテラス」がオープン
- 整備区間における実証実験の実施

● スマートシティ実装化支援事業が最終年度に

実行計画に示された12の取り組みと中央通りで進む公共空間再編事業を踏まえた課題に対応するため、スマート・インフラの整備や四日市版MaaSの構築などを含む4つのスマート関連の取り組みメニューを設定し、国土交通省の「スマートシティ実装化支援事業（都市サービス実装タイプ）」に応募し、2023（令和5）年6月に採択を受けました。

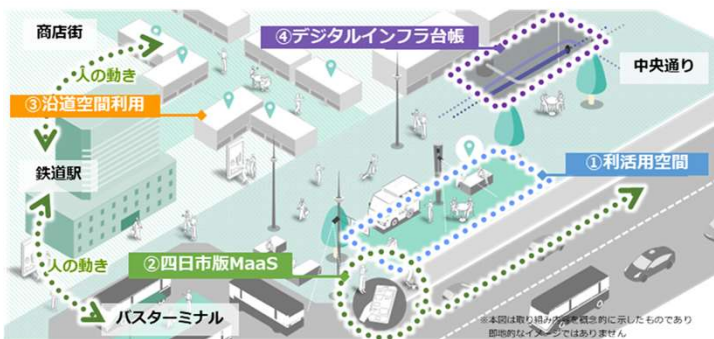
同事業は、3か年に渡り採択を受けて継続し、今年度が最終年度となり、4つの事業について以下のサービスを実装します。

① 利活用空間活性化ツールの構築

中央通り（人通り・気候・道路の情報等）の状況がリアルタイムで分かり、イベントの促進に寄与する必要なデータが得られるサービスを構築

② 四日市版MaaSの構築

徒歩と公共交通機関での移動に付加価値を付け、まちなかの回遊性を促すサービスの構築



③ 沿道空間利用マネジメントシステムの構築

誰もがチャレンジできる場を提供するため、気軽に利用できる広場や歩道、空き店舗を可視化し、貸し借りができるサービスを構築

④ デジタルインフラ台帳の構築

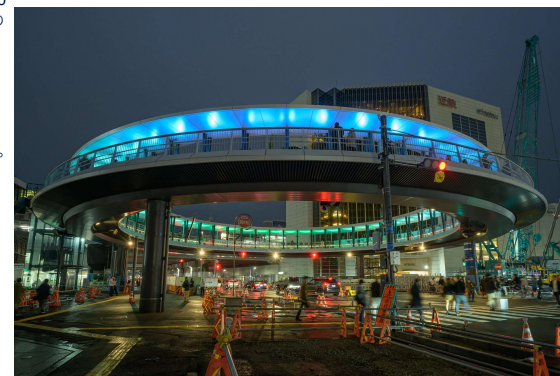
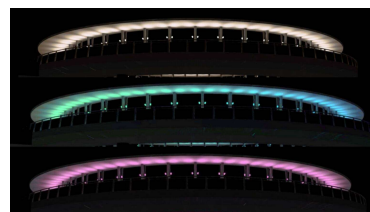
沿道の土地利用を促進するため、中央通りの地下埋設物に係るデジタルインフラ台帳を整備し、開発にかかる関係者間の調整を支援するサービスを構築

※本図は取り扱った内容を概観的に示したものであり、即時的なイメージではありません

● 四日市市の新たなシンボル「よんまるテラス」がオープン

中央通り再編事業におけるまちを眺める視点場や待ち合わせ場所としての機能をもつ円形デッキの工事が完成し、2025（令和7）年12月20日に供用を開始しました。1万件を超える応募の中から愛称として「よんまるテラス」が選ばれました。

円形デッキの照明は光の三原色でプログラムでき、春なら桜のようなピンクにするなど多彩な色の表現が可能で、色が流れるように動く演出も含めて季節やイベントでの演出が可能です。



照明は、上から電球色、山や海をイメージする「ニワミチカラー」、春の桜など、様々な色を表現できる

● 整備区間における実証実験の実施

中央通りの先行整備区間等を対象に、2025（令和7）年5・6月にニワミチJOYnt Park Days、12月に自動運転実証実験を実施し、並行して2025（令和7）年度のスマートシティ実装化支援事業の実証を行いました。

ニワミチ JOYnt(じょいんと) Park Days（5/31～6/1）

中央通り再編により生まれる公共空間（幅員の広い歩道部、バスター東海道広場、中央通り公園）を想定し、ステージや体験会、テントブース、キッチンカーなど市民等の参加による様々な活動でまちの賑わいを生み出していくための社会実験を行いました。

出店にあたっては、沿道空間利用マネジメントシステムを試行しました。



自動運転実証実験（12/9～26）

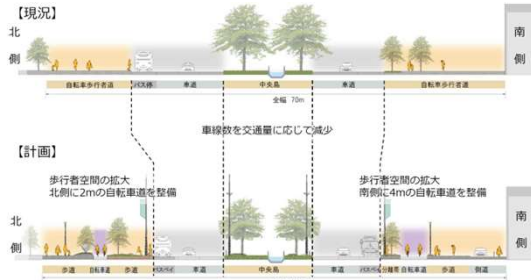
新しく供用を開始した中央通りの走行環境下で自動運転バスの実証実験を行いました。期間中、車両の位置情報や混雑状況をデジタルマップ上に表示するとともに、乗車予約システムとも紐づけ、四日市版MaaSの利便性を検証しました。



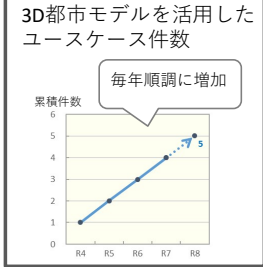
Ⅱ. 四日市の中心市街地 ～ここが変わった 2022(R4)⇒2025(R7)

四日市の中心市街地 ～ここが変わった (2022(R4) ⇒ 2025(R7))

■中央通りの変化



■定量的な効果



■スマートシティサービスの実装

中央通り沿道におけるスマート・ポールの整備 (AIカメラ、環境センサ等)

■利活用空間活性化ツールの構築



スマート・ポールに設置したAIカメラや環境センサ等を通じて、中央通り沿いの混雑・渋滞状況、歩行者の流動量、暑さ指数など、収集されたデータをリアルタイムにポータルサイトで見ることができます。

■沿道空間利用マネジメントシステムの構築



中央通り沿いの利活用空間を対象として、使いたい人と使ってほしい人同士をマッチングするシステムです。

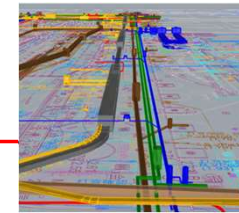


■四日市版MaaSの構築



中心市街地のバスの位置情報、自動運転バスの予約、駐車場の満空情報、観光資源やベンチ、駐輪場等の情報を一元化した四日市版MaaSを構築しました。公共交通に係る情報から施設に係る情報までひとつの端末で得られ、中心市街地の移動やまち歩きに活用できます。


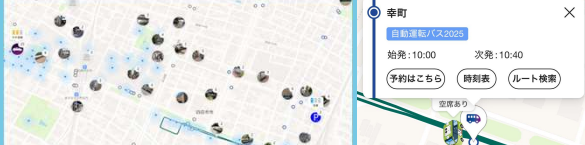


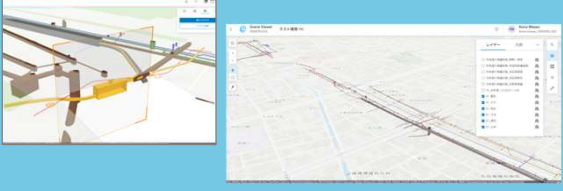
■デジタルインフラ台帳の構築



中央通りの地下埋設物を3Dで確認できるデジタルインフラ台帳を整備しました。今後の地下インフラ維持管理業務の効率化や災害時対応への活用、沿道土地利用の促進が期待されます。

四日市の中心市街地 ～ここが変わった (2022(R4) ⇒ 2025(R7))

■ユーザーエクスペリエンスの変化

市民	<p>Before</p> <p>中心市街地がの混雑度合いや、どんなイベントをやっているか分からない...</p>	<p>After</p> <p>ポータルサイトを見て、いろいろなことが分かるようになった！</p>	<p>「ニワミチよっかいち」のポータルサイトから、中央通り周辺の混雑度合いや、イベントなど様々な情報を得られるようになりました。</p> 
市民・来訪者	<p>市内の公共交通の情報やまちのお出かけ情報がバラバラで分かりづらい...</p>	<p>四日市版MaaSを使えば、交通情報や目的地までの移動、施設情報をひとめでチェックできる！</p>	<p>四日市版MaaSを使うことで、まちなかの施設情報や自動運転を含む移動情報の入手が可能です。</p> 
土地建物のオーナー	<p>自分の土地や建物を活用してほしいが、どうすればよいか分からない...</p>	<p>沿道空間利用マネジメントシステムを使えば、使いたい人と使ってほしい人をマッチングできる！</p>	<p>沿道空間利用マネジメントシステム「シェアまちよっかいち」を使うことで、まちなかの空間を使いたい人と使ってほしい人とのマッチングが可能です。</p> 
新しいサービスを始めたい事業者	<p>中心市街地で、新しいサービスを始めたいけど、どうすればよいか分からない...</p>	<p>沿道空間利用マネジメントシステムを使えば、使いたい人と使ってほしい人をマッチングできる！</p>	<p>沿道空間利用マネジメントシステム「シェアまちよっかいち」を使うことで、まちなかの空間を使いたい人と使ってほしい人とのマッチングが可能です。</p> 
埋設物事業者	<p>中央通り沿道の開発によって埋設物を移設しなければいけないが、他社の地下インフラの状況が分かりづらい...</p>	<p>デジタルインフラ台帳を使えば、3Dでインフラの埋設状況が見られる！</p>	<p>デジタルインフラ台帳を使うことで、地下埋設物の状況を把握することができ、迅速な意思決定や災害時の早期対応が可能となります。</p> 

参考資料

【中央通り周辺の開発動向】

中央通りを中心としたエリアにおける令和元年以降の着手及び竣工状況(令和8年1月1日時点)

- ・オフィス : 6棟
- ・ホテル : 4棟 ⇒ **ホテルの客室数が約700室増加**
- ・マンション : 31棟(9棟が建設中)

■中心市街地人口・土地利用動向(R8.1.1時点)



参考資料

【工事進捗状況】

